

『大般涅槃經集解』 卷第一～三十までの校勘

菅野 博史・張 文良・賈 学霄*

筆者は、近年、公益財団法人白鶴美術館のご好意によって、所蔵の『大般涅槃經集解』(以下、『集解』と略称することがある)の写本(国宝)の写真的撮影の許可を得て、写真を入手することができた。一般的に用いられる『集解』のテキストは、『大正新脩大藏經』所収本であるが、これは『大日本統藏經』所収本をそのまま底本としている。実は、この『大日本統藏經』所収本は白鶴美術館所蔵本を翻刻したものである¹。

筆者はすでに白鶴美術館所蔵本の巻第一～三、巻第十八～二十までについて、『大日本統藏經』所収本との異同を公表したことがある²。これは、『大日本統藏經』所収本における翻刻の相違を指摘したものである。すでに六巻分については公表したが、少なからぬ翻刻の相違が発見された。したがって、『集解』の研究のためには、『集解』全体の正しいテキストを確定する必要がある。『集解』は全七十一巻の大部なものであるので、本稿では、ひとまず巻第一～三十までを範囲として、翻刻の相違を指摘する。

* 本稿は、張文良氏(中国人民大学・仏教与宗教学理論研究所教授)・賈学霄氏(中国人民大学哲学院博士課程学生)との共同作業の成果である。

本研究はJSPS 科研費 JP19K00065の助成を受けたものである。

1 拙稿『『大般涅槃經集解』の基礎的研究』(菅野博史『南北朝・隋代の中国仏教研究』所収、大藏出版、2012年、351-428。初出は1986年)を参照。

2 拙稿「白鶴美術館所蔵『大般涅槃經集解』写本について―巻第一～三、十八～二十の校勘―」(孫茂霞氏との共著。菅野博史『中国仏教の經典解釈と思想研究』所収、法藏館、2022年、241-262。初出は2016年)を参照。

現在、一般には、『集解』を研究する際には、『大正新脩大藏經』所収本を用いる場合が多いと思われるので、白鶴美術館所蔵本との異同を示す場合、『大正新脩大藏經』第三十七巻の頁・段・行を記すこととする。CBETAによって、『大日本統藏經』所収本の該当の箇所は容易に知ることができるであろう。

なお、白鶴美術館所蔵本には、夥しい数の異体字が使用されている。たとえば、「脩」・「修」、「陞」・「陀」、「祕」・「秘」、「藺」・「簡」、「惣」・「摠」・「摠」・「總」、「二十」・「廿」、「无」・「無」、「着」・「著」、「尔」・「爾」、「万」・「萬」、「辭」・「辞」・「辭」・「辞」、「障」・「鄣」などは異体字として扱い、通用の正字を用いる。「巳」は、写本では「巳」と書かれることが多いが、意味は「巳」である。これについては、一々指摘しない。

校異を示す形式は、『大正新脩大藏經』所収本の頁・段・行を記し、その後の()のなかに、左に『大正新脩大藏經』所収本の文字、→の後に白鶴美術館所蔵本の文字を記す。

なお、すでに拙稿で述べたが、白鶴美術館所蔵本には、『南本涅槃經』三十六巻の經文がすべて標出されているが、『大日本統藏經』所収本(『大正新脩大藏經』所収本も同じ)は、この經文を「A至B」という形式で省略している³。このことについては、下の校勘では、一々指摘しないこととする。

また、白鶴本には、ある文字を訂正する場合、その文字の右に小さく別の文字を記す。この場合は、小さな文字の方を基準にする。

3 拙稿「白鶴美術館所蔵『大般涅槃經集解』写本について—巻第一～三、十八～二十の校勘—」(孫茂霞氏との共著。菅野博史『中国仏教の經典解釈と思想研究』242-243頁)を参照。なお、243頁に「『南本涅槃經』四十巻」と記したのは誤りであったので、本文のように訂正する。

(1) 『集解』 卷第一の校勘	381c06 (靶→範)
377a21 (析→折)	382a18 (陀→純陀)
377a22 (豢→象)	382a27 (也→也即卅六問問分也)
377a22 (日→目)	382a29 (醫→醫)
377b03 (負→貞)	382b06 (有→第)
377b08 (名→容)	382b15 (倒→到)
377c18 (宗→宋)	383a04 (倒→到)
377c22 (贍→瞻)	
377c22 (論→綸)	(2) 『集解』 卷第二の校勘
377c25 (手→乎)	383b10 (詞→呵)
377c29 (放→方)	383b14 (盡→壽)
378a15 (明→ナシ)	383b24 (修→循)
378a26 (知→如)	384a09 (受→時)
378b28 (入→八)	384b05 (在→所以在)
378c07 (脩→備)	384b13 (具→俱)
378c26 (德→餘)	384b27 (耶→乎)
378c29 (囑→矚)	384c27 (覆護→覆護覆護)
379b05 (理→理之)	385b12 (切→劫)
379b09 (循→脩)	385c18 (養→勝)
380a14 (合→含)	385c19 (有→者)
380c07 (贍→瞻)	386a12 (辨→辦)
381a02 (行→行所)	386a14 (辨→辦)
381a28 (德→像)	386a16 (辨→辦)
381c05 (化→代)	386a23 (辨→辦)
381c06 (暮 ⁴ →瞽)	386b13 (義→ナシ)

4 『大正新脩大藏經』所収本には「暮」の下部の「日」の上に「一」が付いているようであるが、『大日本統藏經』所収本は白鶴美術館所蔵本と同じく「瞽」に作っているようである。

386c21 (權→權)

406a01 (誠→試)

386c21 (量→盡)

387a07 (楹→盈)

(8) 『集解』卷第八の校勘

387a07 (辨→辦)

412a24 (世→卅)

387b12 (辨→辦)

412b17 (未→末)

387b28 (熟→熟葉則)

387c02 (伽→迦)

(9) 『集解』卷第九の校勘

418b04 (構→構)

(3) 『集解』卷第三の校勘

388b03 (摧→催)

(10) 『集解』卷第十の校勘

388b05 (感→咸)

421a13 (法→方)

421c04 (亮→高⁵)

(4) 『集解』卷第四の校勘

425b17 (脩→備)

校勘ナシ

425c07 (有→者)

(5) 『集解』卷第五の校勘

(11) 『集解』卷第十一の校勘

校勘ナシ

426b09 (案→安)

426c27 (格→枯)

(6) 『集解』卷第六の校勘

428a24 (種→重)

400b13 (捨→誓)

(12) 『集解』卷第十二の校勘

(7) 『集解』卷第七の校勘

430b14 (下→下白)

404a24 (倒→到)

430c09 (構→構)

404b25 (示→亦)

431c22 (智→知)

404c24 (耶時→耶于時)

5 「亮」が正しい。白鶴本に「僧高」と記されることがあるが、「僧亮」の誤りである。
以下、一々指摘しない。

(13) 『集解』卷第十三の校勘

433b06 (情→惜)

433b08 (僧→寶)

433b23 (取→所)

433c29 (舍→含)

434c06 (謂→請)

(14) 『集解』卷第十四の校勘

435a21 (斥→片)

435a22 (斥→片)

435c01 (是名→名是)

(15) 『集解』卷第十五の校勘

436b29 (位→住)

437b15 (辯→辨⁶)

438b03 (下→不)

438b12 (降→降於)

(16) 『集解』卷第十六の校勘

441c11 (道→通)

442c11 (諸→請)

(17) 『集解』卷第十七の校勘

校勘ナシ

(18) 『集解』卷第十八の校勘

445c04 (四諦品第十四倒品第十一如
來性品第十二→ナシ)

445c25 (苦→空)

446a12 (方→方乃)

446a18 (辨→辯)

446b07 (轉輪→輪轉)

446c01 (密→蜜)

446c03 (有→有不)

446c13 (以→以故)

446c21 (説→説四)

447a09 (此→是)

447b05 (智→知)

447b07 (見→起見)

447b22 (僧亮→寶亮)

447c15 (與→興)

448a03 (辨→辯)

448a25 (也→地)

448b03 (案→安)

448b05 (勸→觀)

448b26 (覆→覆)

448c05 (覆→覆)

448c10 (起始→始起)

449a18 (辨→辭)

449b02 (利→利己)

449b03 (常→生)

6 「辨」に作るべきである。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 450a28 (權→摧) | 455b26 (或→有) |
| 450a29 (權→摧) | 456a04 (顯→正顯) |
| 450b27 (義→義言) | 456a12 (勸→勤) |
| 451b13 (責→貴) | 456a23 (覺→學) |
| 451c10 (過→遏) | 456b07 (舍→捨) |
| 452a01 (超→起) | 456c01 (生→性) |
| 452b10 (即→既) | 457a05 (勸→觀) |
| 452b11 (折→析) | 457b13 (妊→任 ⁷) |
| 452c08 (頌→煩) | 457b15 (妊→任) |
| 452c16 (唯→雖) | 457b16 (妊→任) |
| 452c22 (雖→雖理) | 457b18 (妊→任) |
| 453a01 (唯→雖) | 457c21 (曰→曰是) |
| | 458a17 (趣→趙) |
| (19) 『集解』卷第十九の校勘 | 458b01 (寶→歸) |
| 453a20 (性→性住) | 458b29 (歸→師) |
| 453b04 (藥→樂) | 458c02 (預→無預) |
| 453b27 (唯→雖) | |
| 453c21 (□→沒) | (20) 『集解』卷第二十の校勘 |
| 454c15 (爲名→名爲) | 458c20 (辨→辯) |
| 454c22 (柝→析) | 458c27 (十→中) |
| 455a03 (也→ナシ) | 459a03 (曰→日) |
| 455a20 (壞→懷) | 459a08 (理→離) |
| 455b03 (審→審欲) | 459a18 (辨→辯) |
| 455b05 (與與→興興) | 459a22 (辨→辯) |
| 455b11 (遣→遺物) | 459a28 (也→也無) |

7 「任」の右に小さく「妊」とあり、修正している。457b15、457b16、457b18にも「任」があり、修正がないが、意味としては「妊」が正しい。

459a29 (辨→辯)	→ナシ)
459b27 (案→安)	464b11 (導→遵)
459b28 (上→上入)	464c02 (別→列)
459c24 (者有→有者)	464c12 (漏→滿)
459c24 (知→智)	465c02 (關→開)
460b01 (若→苦)	
461a16 (辨→辯)	(22) 『集解』卷第二十二の校勘
461b08 (後→從)	466a06 (月喻品第十五菩薩品第十六
462a03 (一一→一)	→ナシ)
462a29 (稱→構)	466a21 (白→曰)
462b20 (暖→曖)	466a22 (遍→偏)
462c04 (見→身)	466a26 (未→末)
462c16 (兩→而)	466c21 (慧→慧)
462c27 (進→進信)	466c29 (之→久)
462c28 (也→地)	468b14 (故→故以)
463a11 (故→故執)	468b19 (略→酪)
463b01 (明→妙)	468c12 (行→所)
463b01 (貧→貪)	468c16 (肉眼→内能)
463b01 (貧→貪)	
463b04 (捨→捨而捨)	(23) 『集解』卷第二十三の校勘
463b05 (寢→ナシ)	469a08 (品→品之)
463b14 (謗→傍)	469b04 (白→曰)
463b25 (議→義)	469b20 (子→兒)
463c21 (白神→神白)	469c14 (況→呪)
463c23 (句→向)	469c15 (覆→履)
	469c18 (是→足)
(21) 『集解』卷第二十一の校勘	469c19 (覆→履)
464a06 (文字品第十三鳥喻品第十四	470a07 (存→字)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 470b04 (呪→況) | 474a20 (辦→辨) |
| 470b04 (譬→譬譬) | |
| 470b21 (教→經) | (25)『集解』卷第二十五の校勘 |
| 470b22 (妙→明) | 校勘ナシ |
| 470c02 (惑→感) | |
| 470c18 (無→天) | (26)『集解』卷第二十六の校勘 |
| 471a03 (業→行) | 校勘ナシ |
| 471a08 (心→正) | |
| 471a29 (弟→第) | (27)『集解』卷第二十七の校勘 |
| 471b13 (止→上) | 校勘ナシ |
| | |
| (24)『集解』卷第二十四の校勘 | (28)『集解』卷第二十八の校勘 |
| 471c03 (大衆問品第十七→ナシ) | 480a19 (集→衆) |
| 471c13 (同→周) | 480a20 (戒→惑) |
| 472a06 (有→旨) | 480a24 (據能→據) |
| 472b02 (治→治) | 480b09 (天→無) |
| 472b07 (而不→而) | 480b11 (雨→兩) |
| 472b20 (悉→志) | |
| 472b23 (容→容) | (29)『集解』卷第二十九の校勘 |
| 472c11 (狗→拘) | 480c18 (淨→淨天) |
| 472c27 (進→信) | 480c18 (問→譬問) |
| 473a19 (聞→開) | 480c23 (悲→非) |
| 473a23 (樂→樂之) | 481a05 (幼→幻) |
| 473a27 (末→未) | 481a05 (業→行) |
| 473b02 (容→客) | 481a18 (皆→皆是) |
| 473b04 (辦→辨) | 481a19 (辨→辯) |
| 473b17 (第→第六) | 481b13 (跌→跌) |
| 474a03 (以→即以) | 481b24 (挑→桃) |

(30) 『集解』 卷第三十の校勘

482b26 (舉→向舉)

483a09 (北→比)

483a18 (以→人)

483a21 (不→不以)

483a26 (為→為樂)

483b02 (宗→亮)

483b05 (衆→樂)

483b08 (受→重)

483c13 (為→為樂)

483c14 (故→先故)

483c14 (天→無)

